

情報科（情報A）学習指導案

10月25日(木) 第2校時		1年次2組 指導者 大和田 礼智	
実施場所	1年2組教室	教科書名	高校情報A(実教出版)
単元	第1章 わたしたちと情報社会 第2節 情報社会の中の個人		
単元目標	現代人は、さまざまな情報の中でくらしていることを理解し、情報社会における個人の責任の在り方を考える。		
指導計画	1 個人情報の保護 2 個人の責任	1時間 (本時)	
本時の目標	① ネットについて理解し、情報社会に参画する態度を育てる。 ② 情報社会における個人を取り巻く環境を意識化し、その自己責任の必要性を理解する。		
評価の観点	・ 情報社会の現状を把握し、その課題に対処するための方策について考えている。 (思考・判断・表現)		
準備資料	ワークシート 1枚		
学 習 活 動 の 内 容		時 間	指 導 上 の 留 意 点
導入	本時で学ぶことの確認	5分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 課題を説明する。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの特徴の一つである匿名性について理解する。 ネットについて理解する。 ネットを意識したコミュニケーションを理解する。 	20分 (一斉+グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの匿名性についての利点と危険性について理解できるように、項目を設定し、話し合わせる。 ネットの課題については、具体例をもとに意見を出し合い、理解を深めさせる。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> インターネットコミュニティについての機能、利点、問題点を話し合い、理解する。 電子メールやチャット、携帯のアプリを用いたコミュニケーションの特徴について意見を出し合う。 利用しているメールやチャット、携帯のアプリケーションについての特徴を理解する。 情報社会における責任を考える。 	20分 (一斉+グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> 班内で自分の意見を述べやすいように、身近なサイトを例示する。 インターネットコミュニケーションの利点や問題点について話し合い、有効な手段を安全に活用する方法を学ばせる。(思考・判断・表現) 情報社会で適正に情報を収集したり発信したりできる技術と知識を身に付けさせる。
整理	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだことの確認する。 	5分 (一斉)	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 次回の授業の連絡をする。